



News Release

日本カーソリューションズ株式会社

個人向けWEBサイト「リースDeマイカーオンライン」での新たなサービス開始について

日本カーソリューションズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 野上 誠、以下弊社)は、本日、個人向けWEBサイト「リースDeマイカーオンライン」(<https://mycar.ncsol.co.jp/>)をバージョンアップし、新たなサービスを開始しましたのでお知らせいたします。

1. インプレッション機能追加による車種情報提供サービスの拡充

- 新たな「リースDeマイカーオンライン」では、様々な人気車種の良いところ、気になるところ、ライバル車との比較などをWEB上で表示可能(※1)といたしました。
- 従来、自動車ディーラー各社を廻って集める必要があった情報を、パソコンやスマートフォンを介して、自宅や移動中でも確認することが出来ます。クルマに詳しくない方にも分かり易く情報を提供することで、お客さまのクルマ選びを強力にサポートいたします。

2. 輸入車等高級車取扱い開始による見積対象車種の大幅拡充

- WEBサイト上の見積対象車種を大幅に拡充し、高級車利用ニーズに対応した輸入車やレクサスの取り扱いを開始いたしました。

3. WEBサイトでの9年リース商品の取り扱い開始

- 従来の5年・7年リースに加え、長期利用ニーズに対応した9年リースの取り扱いを開始いたしました。

4. その他の新たなサービス

- この他にも、お客さまが希望するジャンルの情報だけをお送りするメールマガジン機能などを追加しています。5月にリリースしたマイページ機能を用いることで、チャット形式でお客さまと弊社担当者でやりとりすることが可能になっており、お客さまの希望する情報を、WEBサイトを通じてご提供いたします。

弊社は、個人向けオートリース商品「リースDeマイカー」において、WEBサイト経由でお申込みいただく割合が増加しており、今後もこの割合を引き上げる計画です。今回のバージョンアップに合わせて、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ傘下のiBankマーケティング株式会社が提供するスマートフォン専用アプリ「Wallet+(ウォレットプラス)」との連携や、楽天市場出店(8月予定)などを行い、個人向けオートリースの更なる拡販を目指してまいります。

今後も、お客さまのさまざまなニーズに対応できるサービスを拡充してまいります。

※1 本日時点では20車種を掲載しています。掲載車種数は逐次増加予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本カーソリューションズ株式会社 マイカー営業部 村山 TEL:03-5207-2195

インプレッション機能 画面イメージ

~The Car Information~*



<ライバル車種>

●マツダ アクセラハイブリッド

エンジンはスカイアクティブGの2缸だが、ハイブリッドユニットは3代目プリウスと同じだ。4代目（新型）プリウスの走りの質感が高まった現在、アクセラのアドバンテージは小さくなった。静粛性でも新型プリウスがリードしている。

○ もう燃費だけとは言わせない走り
× せっけん箱のようなセンターコンソール

■プロフィール&インプレッション

ハイブリッドカーを普及させた立役者がプリウス。現行型は2015年末に6年半ぶりにフルモデルチェンジして4代目へと進化した。新型は、まさに“一新”というにふさわしい内容だ。

プラットフォームは最新のトヨタニューグローバルアーキテクチャー（TNGA）を初採用。低重心化、軽量化、高剛性を図っている。これによって走りの性能や快適性が大きく向上し、燃費性能以外の魅力も高めている。もちろん、燃費はさらに向上。THS IIを熟成させてシステムの高効率&コンパクト化を実現し、最高40.8km/ℓのモード燃費をたたき出している。

後輪をモーター駆動（E-Four）としたプリウス初の4WDが設定されたのも話題のひとつ。後輪用モーターの出力は約7馬力と小さく、発進から約70km/hまでの駆動となるが、積雪地域のユーザーにはうれしい追加設定だろう。しかも、燃費は34.0km/ℓとFFの3代目（先代）よりも優れている。



●インパネまわりは「遠方表示・手元操作」を基本に直感的に操作ができるようレイアウト。写真は専用のTコネクタナビ（9インチ）装着車

●インテリジェントパーキングアシストは、従来のカメラ式から空間を認知する超音波式に変更。暗所や白線がない場所でも駐車アシストする

■お薦めはコイツだ

A

■人気グレード

S 40%
Sツーリングセレクション 21%
A 20%

●2015年12月発売

*本車種のThe Car Information データ提供：システム・カンパニー(株)・(株)八重洲出版 出典：自動車専門誌『driver』